令和6年度　全国こども政策主管課長会議

こどもまんなかアクションについて

こども家庭庁長官官房総務課
こどもまんなかアクション推進室

こどもまんなか
こども家庭庁

こどもまんなか
こども家庭庁

《 目　次 》

Ⅰ．こども・子育てにやさしい社会づくりのための意識改革について

1. 「こどもまんなかアクション」の展開について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

2. こどもまんなか応援サポーターについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

3. 「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウムの開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

4. 事業の内容について・・ 9

Ⅰ．こども・子育てにやさしい社会づくりのための意識改革について

こども・子育てにやさしい社会づくりのための意識改革

「こどもまんなかアクション」の展開

１．趣旨

こどもや子育てにやさしい社会づくりの気運を高めるために、地域社会、企業など様々な場で、年齢、性別を問わず、全ての人がこどもや子育て中の方々を応援するといった社会全体の意識改革を進める。

２．取組の内容

- **「こどもまんなか応援サポーター」の取組　※「#こどもまんなかやってみた」をつけてSNSに投稿（令和５年５月～）**
- **「こどもまんなかアクション公式LINE」の開設　＜現在はお友だち７万人超＞（令和５年８月～）**
- **「こどもまんなか応援サポーター」の好事例をこども家庭庁ＨＰに掲載。（令和５年９月～）**
- **自治体を主体としたリレーシンポジウムを各地で開催（令和５年10月～）**
- **春・秋の「こどもまんなか月間」、夏休み期間など時機を捉えた広報施策やサポーターと連携した取組の実施。**

※R7年度春の「こどもまんなか月間」については、事務連絡で詳細をお知らせいたします。

39道府県、326市区町村含む　2,711の団体・企業・個人がこどもまんなか応援サポーター参加。

※令和7年３月３日現在

こどもまんなか応援サポーターについて

広がっています！「こどもまんなか応援サポーター」
39道府県　326市区町村含む　企業・団体・個人の参加2,711に拡大中

※3月3日現在

「こどもまんなか応援サポーター」への参加方法（登録手続き等不要、自主参加の取組です）

❶ **こどもまんなかの趣旨に賛同**する。
❷ **サポーターご自身が考える「こどもまんなか」なアクションを実行**する。
❸ **ご自身・団体のアクションを発信したり、地域社会に広く参加を呼びかける。**

「こどもまんなか」

こどもや若者の**意見を聴き**、その**意見を尊重し**、
こどもや若者にとってよいことは**何かを考え**、
自分ができる**アクションを実践**していきます。
どんなこどものことも考えていきます。

SNS(X、Instagram、YouTube）で発信する際にぜひ、＃こどもまんなかやってみた　をつけて発信ください。
こども家庭庁は「いいね」やホームページ・公式LINEでの好事例紹介等でみなさまのアクションの見える化をサポートします。

◆サポーターは「こどもまんなかマーク」を活用できます。
（詳細はHPへ）

こどもまんなかアクションは、点（自治体）から面（地域の企業・団体ぐるみ）への広がりへ。

【庁サイト内でも紹介】

こどもまんなか応援サポーター

地域に広がるこどもまんなか応援サポーター

各自治体を起点に、こどもまんなか応援サポーターの輪が広がっています。

- 北海道札幌市
- 北海道深川市
- 福島県西白河郡矢吹町
- 栃木県宇都宮市
- 千葉県佐倉市
- 愛知県大府市
- 和歌山県
- 岡山県真庭市
- 広島県
- 広島県福山市
- 広島県呉市
- 福岡県北九州市
- 宮崎県都城市
- 鹿児島県日置市

【都城市】

市内の企業・団体等のサポーターを募集し、取組を市ＨＰで公開

【福山市】

・「子ども未来づくり100人委員会」高・大学生はじめ100人以上の市民が「子育て世代を支えるためのアクション」を考える取組を実施。

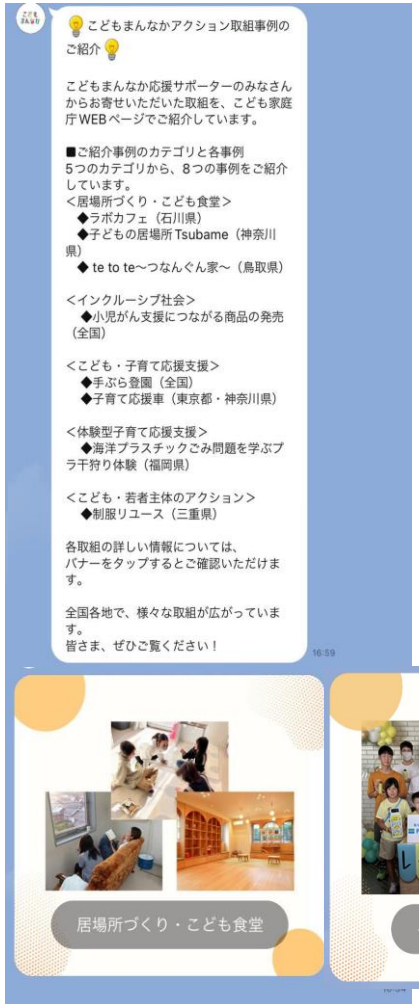
【和歌山県】

・県内の子育て等を応援する団体・企業から応援団を募集し、活動事例をHPやメルマガで紹介

こどもまんなかアクション

応援サポーターの取組好事例を庁のホームページやアクション公式LINEで紹介し、見える化。

LINE配信イメージ



ホームページ掲載例

https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo-mannaka/case/

長浜市

門真市

富岡市

「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウム　の開催

自治体を主体とし、地域での課題解決に向けた取組紹介や意見交換等を自治体の要望に沿ってさまざまな形式で実施。こども家庭庁から職員や地域の学生レポーターを派遣し、各政策の説明を行うとともに地域での気運醸成に協力する。

◆開催実績

- **Ｒ５年度：全国11か所で開催（和歌山県・神奈川県・奈義町・埼玉県・北九州市・北海道・愛媛県・福山市・大分県・福井県・栃木市）**
- **Ｒ６年度：全国18か所で開催（山形県・前橋市・北九州市・青森県・滋賀県・鹿児島市・新潟県・ 佐倉市・取手市・大田区・京都市・仙台市・鳥取県・浜松市・羽咋市・呉市・熊本県・豊中市）**

●開催レポート例：滋賀県

●学生レポーターによるレポート例：佐倉市

◆Ｒ７年度は全国18か所程度の開催を予定

事業の内容について

こども家庭庁 **社会全体で子育てを応援する環境・意識の醸成**

長官官房 総務課

令和６年度補正予算案　6.7億円

事業の目的

- 「こどもまんなか社会」の実現に向けて、地域社会、企業など様々な場で、年齢、性別を問わず、全ての人がこどもや子育て中の方々などを応援するといった社会全体の意識改革を進める必要がある。（『こども未来戦略』（令和５年12月22日閣議決定））
- 気運醸成には、多様なアプローチによる複層的な働きかけが有効なことから、「加速化プラン」に基づく３年間の集中的な取組として「こどもまんなかアクション」の展開や国民のニーズを踏まえた施策を進めるための戦略的広報を実施するとともに、職場慣行を含めた働き方の見直しや社会全体の構造・意識の改革に向け、全国民的な推進組織による民間主導の取組を支援する 。
- 「こどもまんなか」の認知率の向上等により「こども・子育てにやさしい社会の実現」に向かっていると考えている人の割合70%の実現を図る。

事業の概要

１．こどもまんなかアクションの推進

地方自治体、企業、個人などによる「こどもまんなか応援サポーター」の自主的な取組をメディア、SNS、イベント・シンポジウムを通じた情報発信により見える化することで、新たな取組や団体同士のつながりを引き出し、こどもまんなかな行動（アクション）の広がりを生み、気運醸成を図る。

国や地方自治体のみならず、地域社会、企業、NPOなど様々な関係者がセクターを超えた連携・取組の推進を図るため、春と秋の「こどもまんなか月間」及び夏休み期間など時機を捉えたキャンペーンの実施等を行

２．社会の気運醸成に向けた全国民的な推進組織による取組の支援

社会全体の構造・意識の改革は、各層・各界の交流や気づきの共有・広がりにより達成されると期待できることから、経済界・労働界、地方自治体や若者世代といった幅広い人々が参画した、全国民的な推進組織による取組を支援する。

具体的には、企業・地域社会などの構成員や若い世代の意識が高まり、それぞれの行動変容に結びつくよう、全国民的な推進組織が行う広報内容や手法の検討、広報・意識醸成コンテンツの作成、対面・メディア・SNS等の各種媒体を活用した発信等の取組を支援する。

社会の意識改革

○こどもまんなかアクション

・こどもや子育て世代を応援する企業・団体・個人の取組を「見える化」することにより気運醸成を図る取組。
－こどもまんなかの趣旨に賛同した方に、「こどもまんなか」な行動（アクション）を取っていただき、SNS等での発信を呼び掛ける（応援サポーター）。
－全国でリレーシンポを開催。

→ターゲット（こどもに関わる地域・経済・社会）
⇒こどもまんなか社会の実現

○民間主導の取組支援

・経済界、労働界、地方自治体や若者世代といった幅広い人々が参画した、全国民的な推進組織による取組を後押しし、民間主導で、職場慣行を含めた働き方の見直しや社会全体の意識改革を実現していく取組を支援

→全国民的な推進組織の活動につなげる
⇒職場慣行を含めた働き方の見直しや社会全体の意識改革

実施主体等

【実施主体】国（民間事業者等へ委託）